

平成30年度 現代社会シラバス（3年）

科目名	現代社会	単位数	2単位	対象学年	3年
-----	------	-----	-----	------	----

●どのような学力を伸ばすのか

関心・意欲を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・日本および世界に対して深い関心を持つ。 ・国際社会で生きていく心がまえを身につける。
思考力・判断力をUPする	<ul style="list-style-type: none"> ・的確な資料に基づいて、社会的事象に対する客観的かつ公正なものの見方や考え方を育成するとともに、学び方を習得する。
技能・表現力を伸ばす	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象に対する関心を持って、多様な角度から考察できる。自分の考えをことばや文章で表現できる。
知識を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・現代に生きる国際人として基礎的な知識を身につける。

●評価について

- 評価は、定期テスト（知識・理解）を中心に、授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）、発言や提言（思考・判断）などを総合的に判断して行う。
- 定期考査は、前期・後期ともに中間考査と期末考査をそれぞれ100点満点で行う。
- 各学習のまとめ段階では、自己評価や相互評価も活用する予定である。
- なお、年間授業時数の1/3以上を欠席すると単位を認定しない。

編	学習内容	時数	学習のねらい
第1編 私たちの生きる社会	1. 環境と私たちの生活 ①地球環境のいま(1) ②地球環境のいま(2) ③私たちの地球を守るために	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模の環境問題にはどのようなものがあるかを理解させる。また、さまざまな環境問題と人間の活動とのかかわりについて理解させ、よりよい環境を次の世代に引き継ぐためにはどうしたらよいか考えさせる。
	2. 資源・エネルギー問題と私たちの生活 ①限りある資源 ②資源問題の解決をめざして	1	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の有限性について理解を深め、石油に代わる資源には何があるか、資源を有効に利用するためにどうしなければならないかを考えさせる。
	3. 科学技術の発達と私たちの生命 ①科学技術の発達と生命 ②生命倫理をめぐる問題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発達が社会や生活をどのように変えてきたか、科学技術の発達にともなうさまざまな問題について考えさせる。
	4. 高度情報社会と私たちの生活 ①情報の高度化の進展 ②高度情報社会の課題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化の進展が社会に及ぼす影響、課題について考えさせる。

第2編 現代社会と人間としてのあり方 生き方	1. 青年期と自己の形成 ①青年期とは ②青年期を充実させるために ③伝統や文化とのかかわり ④祭りと年中行事 ⑤社会とのかかわり ⑥私たちの生きがい	7	・青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにはどのようにすればよいか考えさせる。 ・一人前の人間として自立するためには何をしたらよいか考えさせる。
	2. 個人の尊重と法の支配 ①個人と国家 ②法の支配 ③基本的人権の保障 ④世界の政治体制	5	・法の支配とはどのようなものかを考えさせる。
	3. 現代の民主政治と政治参加の意義 ①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と日本の安全保障 ③冷戦終結後の防衛問題 ④平等に生きる権利 ⑤自由に生きる権利 ⑥豊かに生きる権利 ⑦新しい人権 ⑧基本的人権と公共の福祉 ⑨国会の運営と権限 ⑩内閣と行政の民主化 ⑪裁判所と人権保障 ⑫地方自治と住民の福祉 ⑬選挙制度の現状と課題 ⑭世論の形成と政治参加	18	・日本国憲法の三つの基本原則がめざすものを理解させる。 ・平和主義をめぐって、どのような動きがあったのかを理解させる。また、自衛隊をめぐる問題について理解させる。 ・自由とはどのような意味をもつのか、自由の行使には社会的責任がともなうことを考えさせる。 ・身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解させ、その解決策を考えさせる。 ・社会権が私たちの生活をどのように変えたか考えさせる。 ・新しい人権にはどのようなものがあるか理解させる。 ・基本的人権と公共の福祉の関係について理解させる。 ・憲法を守るための裁判所の権限について理解させる。 ・国権の最高機関である国会について理解させる。 ・議院内閣制のしくみ、内閣の組織と権限について理解させる。 ・国民が政治に参加する方法には、どのようなものがあるか考えさせる。

第2編 現代社会と人間としてのあり方 生き方	4. 国際政治の動向と日本の役割 ①国家主権と国際法 ②国際連合の役割と課題 ③第二次世界大戦後の国際社会 ④冷戦終結後の国際社会 ⑤核兵器の廃絶と国際平和 ⑥地域紛争と人種・民族問題 ⑦国境と領土問題 ⑧日本の役割と私たちの生き方	12	<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家とはどのようなものか，国際社会における国際法の役割と限界について理解させる。 ・人種・民族紛争の実態，難民問題について理解させる。 ・国連の成立，役割と課題について理解させる。 ・日本の外交の基本方針について理解させ，アジアの一員としての日本の役割について考えさせる。 ・国際社会における日本の役割，国際社会の一員として何をすべきか考えさせる。
	5. 現代の経済社会と私たちの生活 ①経済と私たちの生活 ②経済体制の変容 ③現代の企業 ④市場のしくみ ⑤国民所得と私たちの生活 ⑥景気変動と物価の動き ⑦財政のしくみと税金 ⑧日本の財政の課題 ⑨金融機関のはたらき ⑩戦後日本経済のあゆみ（1） ⑪戦後日本経済のあゆみ（2） ⑫技術革新の進展と産業構造の変化 ⑬中小企業の現状と役割 ⑭食の安全とこれからの日本の農業 ⑮雇用と労働問題 ⑯労働環境の整備 ⑰公害の防止から環境保全へ ⑱費者問題と消費者主権 ⑲社会保障と福祉社会 ⑳これからの社会保障	20	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の特徴と課題，社会主義経済の特徴と現状を理解させる。 ・経済の発展によって社会はどのように変化したか理解させる。 ・企業の社会的責任について理解させる。 ・政府はどのような経済的役割をもっているかを理解させる。 ・財政にはどのような機能と役割が求められているかを理解させる。 ・金融機関のはたしている役割，中央銀行の金融政策について理解させる。 ・公害の原因と，それに対する国・企業の責任について理解させる。 ・消費者問題に対する企業の責任や国の対策について理解させる。

第2編 現代社会と人間としてのあり方 生き方	6. 国際経済の動向と日本の役割 ①国際分業と貿易 ②国際経済体制のあゆみ ③国際収支と為替相場 ④国際経済の動向 ⑤進む地域的経済統合 ⑥発展途上国の経済と南北問題 ⑦国際社会のこれから	6	<ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易と保護貿易の違いについて考えさせ、自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割について理解させる。 ・日本の国際収支の変化、為替相場の変動が及ぼす影響について理解させる。 ・日本の貿易の特徴について理解させる。 ・国際経済機構や地域的経済統合にはどのようなものがあるか理解させる。 ・南北問題の原因、発展途上国のかかえている問題について理解させ、南北問題解決のために日本は何をすべきか考えさせる。
	7. 民主社会に生きる倫理 ①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的な考え方 ③近代の西洋社会に見られる考え方 ④近代市民社会から大衆社会へ ⑤他者とともに生きる ⑥豊かな社会の実現に向けて	5	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ私たちの生命は尊重されなければならないのか考えさせる。 ・日常の生活において、私たちはどのような場面で宗教や芸術とかかわっているのかを考えさせる。